

独自に「学士力」定め実質化

東北工業大学の教育改革 学生に分かりやすく能力を分解

仙台市に立地する東北工業大学(渡邊浩文学長、工学部、建築学部、ライフデザイン学部)は、2010年から独自にAEGGポリシーと6つの学士力を定めた。東日本大震災やコロナ禍を経て、徐々に形になり実質化していった。中でも「共通学士力強化ハンドブック」は育成したい能力を丁寧に解説しており、大変分かりやすい内容である。一連の改革について、渡邊学長と小山内幸広大学企画室長に聞いた。

渡邊学長と小山内室長に聞く

「O.A.E.G.G.」5つの「共通学士力」
AEGGポリシーのAはAdmission、EはEducation、1つ目のGはGraduation、2つ目のGはGuidanceを意味する。A・E・G(1つめ)は、それぞれ3つのポリシーに該当する。渡邊学長は次のように説明する。「3つのポリシー策定について検討した際に、Guidanceも必要だろうと。これは正課外教育の方針で、学生たちは必ずしも講義や実験のみではなく、学会発表をはじめとする研究成果の公表、サークルや部活、インターンシップやアルバイトなどを通じて大学生活の中で成長しています。そこで、正課

外活動について学生の指導方針を定め、正課外活動に関する活動のデータも収集するようにしました。」

2019年、内部質保証体制を一歩進めるため、「内部質保証推進委員会」を設置して学修成果の可視化やPDCAサイクルの実質化の議論がスタート。同委員会は、学長や副学長、学部長、主要委員会(入試・教務・学生・就職)の委員長及び関係事務管理職などがメンバーであるが、日常的な大学の意思決定を担う「代議員幹事会」メンバーが全員含まれているので、委員会の決定はそのまま大学の決定と同様となる。

リシーを改訂し、これまでの学士力を「5つの共通学士力」と「各学科の専門学士力」に分離しました。「共通学士力」は、学部・学科に関わらず本学の学生なら共通して身につけるべき学士力であり、専門学士力は、所属学科で学ぶ高度な専門的知識・技能などの能力となります。」

新しく定義された共通学士力は「創造力」と「統合力」に分けられる。これは、岩崎俊一名誉理事長・名誉学長が「文化」には、仮説を提案して実証する「創造」、標準化と普及を図る「展開」、そして実社会への融合を目指す「統合」の3つのキーワードが重要」と述べたことに由来する。「創造力」は、①情報収集・分析力、②論理的思考力、「統合力」は、④コミュニケーション力、⑤セルフマネジメント力、「創造力」と「統合力」の両者に跨る③課題発見・解決力という5つに分解され、これを「5つの共通学士力」としている。これらはルーブリックになっており、学生は後述の「キャリアデザイン」科目等で自己診断する。

全学生が必修となる。中でも「キャリアデザイン」は、自らの将来をイメージして設計するほか、なぜ共通学士力や専門学士力を定めているのか、なぜこのような能力を伸ばしつづ測定しなればならないのかについても学ぶ。「自分の将来を見据え、高校までとは異なる評価軸で自己を伸ばしていくことの意義について、学生自身に腹落



渡邊学長(右)と小山内室長

る。そして、それぞれどの科目での共通学士力と専門学士力が身につくのかを表にして明示していく。アンケートで「卒業時の成長実感」などのデータを収集したり、外部のアセスメントテストから確認する。

「能力」を分解して、さらにそれを身につけるために「具体的に何をすればよいかを説明している」と渡邊学長はこの中で、「皆さんのチカラを5つの共通学士力に沿って測定し、「弱み」「強み」を可視化します。そして、そのチカラを伸ばし、改善して行くための計画を立て実行し、伸ばさせていくサイクルを設計したのが、本学のキャリア形成支援」と解説するように、大学時のあらゆる経験や成長がデータ化されて、卒業時に「ディプロマサブリメント」として成果が「見える化」される。

この授業改善のPDCAサイクルは「授業録画配信システム」として結実し、対面授業を後から視聴できるようになった。これは同大学の教育DXとして学生にも評価が高いという。

こうしたPDCAの改善活動が、AEGGポリシーと「学士力」の実質化と歯車ががっちりと組み合わさり、同大学の「教学マネジメントシステム」として機能し始めたのである。「IRやFDの中心を担うのが、FD・IR企画部とその裏方である大学企画室(旧・学長室)であり、現在は授業の出席率や授業外学修時間と成績の関係、正課内外の活動経験と外部アセスメントテスト結果(共通学術力スコア)との関係について分析中です。こうした分析の結果を、さらなる教育及び学生支援の改善に結

び付けられれば」と小山内室長は展望する。2022年度からは、全学レベル、学科レベル、そして、授業レベルにおいて、アセスメントポリシーを改訂した。ODXとGXも2010年から始動した内部質保証と教育改善の取り組みは、全学ポリシーから各学科の学修目標がきちんと整合するまで、ようやく形になってきた、と学長。大学はもちろん、学生もデータから「見える化」してそれぞれのPDCAサイクルを回していく。時代に合せて全学共通教育として、2021年度からはDX教育、2023年度からはGX教育を開講するとう。

宿泊 宴会 婚礼

レストラン 和食堂 バー



お茶の水
東京カーテンパレス
日本私立学校振興・共済事業団
東京都文京区湯島1-7-5 03(3813)6211(代表)